

小田原男声合唱団創立記念
第1回定期演奏会

1972.5.16 (火) 6.30P.M
小田原市民会館大ホール

後援
小田原市教育委員会
神奈川県合唱連盟
小田原地区合唱連盟

小田原男声合唱団代表者

興石昭次

小田原男声合唱団が昨年11月2日に発足してから半年、皆様がたのご協力により創立記念第一回定期演奏会を開催できる程に成長いたしました。

小田原に男声合唱団を、という考えは、合唱経験のあるかたなら誰でも当然もっておられたことと思います。私達の合唱団はそういう自然の要求の上に経験豊かな人材が集まって結成されました。これは小田原の合唱の歴史の中で長い間培われてきた尊いものです。

いわば、時代の要求と人材の結びつきがあったわけです。それに加えて、もう一つの絶対条件は、それを統合するに、またと得られない日本第一流の名指揮者福永陽一郎先生をお迎えできたことです。

私達団員一同、小田原音楽文化のため、自己研鑽のためますます精進を重ねる所存です。

何卒今後もしろしくご支援の程をお願い申し上げます。今回の創立記念演奏会にご尽力くださった皆様がたに厚く御礼申し上げます。

第一回演奏会にあたって

小田原男声合唱団常任指揮者

福永陽一郎

新しくうぶ声をあげました小田原男声合唱団の常任指揮者として、久かたぶりに小田原の音楽を愛する皆様にごあいざつできることを、心から嬉しく思います。

私が、私の主宰しておりました男声合唱団の東京コロリアーズの演奏会を、労音の例会として小田原で持ちましたのは、もう十何年も前のことになりました。その当時も労音の委員をしておられた井上さんとは、音楽を通じて、親しく語り合った仲です。その井上さんからのお話で、小田原で、いまよでの合唱活動にあきたらない人たちが集って、ひとつ飛躍したところから出発する合唱団をつくりたいという希望が高まっていることを聞きましたのは、昨年の春も終りころでした。その時、私は健康を害しておりましたが、恢復を待って発足したいということとで、その熱意が並々ならぬことを知りました。

直接に合唱指揮の活動をはじめて四半世紀になった私が、つねづね残念に思っておりましたのは、日本の合唱運動の中心が学生、つまり二十代前半の青年たちの間にあって、その熱心な若者たちも、いつか社会の中に溶解してしまっ、決して一般の平常生活の中の音楽活動の原動力になり得ないという一事についてでありました。はからずも、今回、小田原のかたがたと話合っておりますうち、歌を忘れたカナリカかとも見えたかたの合唱気狂いたちが、決してその情熱を忘却の彼方に置いてきてしまったのではないことを知って、非常に嬉しく思ったものです。

いっぽうでは、東京や大阪のような巨大都市でのグループ活動が至難のことになっている今の時期に、文化の中心が拡散することを望む声が高いことも考えあわせ、この小田原でのエネルギーの集結と噴出が、日本全体の音楽文化の中ではたす役割を、重大なものとして仕事を はじめました。今夜のステージの歌声は、実は日本の空にこたましてきているのかも知れませんが、

常任指揮者 福 永 陽 一 郎



東京音楽学校（現芸大）本科ピアノ科出身、井口基成、豊増昇にピアノを、近衛秀麿に作曲法、指揮法、管絃楽法を、M・グルリットにオペラ指揮法を師事、1956年藤原歌劇団、ピアニスト、副指揮者、合唱指揮者として経験を積む。1956—65年藤原歌劇団常任指揮者として活躍。同団の第三次渡米公演に同行、アメリカ、カナダの主要46都市の公演を指揮した。1959年・61年・63年・67年のイタリアンオペラ来日公演には、副指揮者、合唱指揮者として参加。歌劇指揮者として、レパートリーは五十数種のオペラを持ち、日本屈指のベテランである。

合唱音楽についても経験が深く、合唱界の第一人者の一人である。1952年、畑中良輔氏と共に、東京コロリアーズを創立、日本最高のプロ男声合唱団に育てた。

アマチュア・コーラスに対する理解と情熱も、過去20年間、断絶することなく持続され、現在、法政大学アカデミー合唱団の常任指揮者であるほか、客演指揮、合唱講習会の講師、コンクールの審査員として全日本的に活躍。又合唱用の編曲作品は数百曲に及ぶ。

現在、東芝レコードに現代合唱曲シリーズをとりくみ、その演奏のすばらしさは合唱界に大きな話題をなげかけている。

新 井 省 吾 (ピアニ)

京都音大卒。ピアノを豊増昇に師事。

朝日放送、藤原歌劇団の専属ピアニストを経て、現在、プロ合唱団、声楽家の伴奏ピアニストとして市広く活躍。

1970年、藤沢市民交響楽団のベートリートーベーン連続演奏会にソリストとして出演。第三、第四、第五（「皇帝」）のピアノ協奏曲を演奏した。藤沢市在住。

創立記念演奏会を祝して

小田原市長 中 井 一 郎

このたびは昨年11月に発足した小田原男声合唱団が第1回定期演奏会を本市民会館で開催されますことに対し、心からお祝い申し上げます。

本市にはいろいろな合唱団がありますが、男声合唱団が発足されたのは、はじめてであり、この合唱団の誕生にあたっては関係者の並々ならぬご努力のあったこととお察し申しあげ敬意を表する次第であります。

今回の演奏会には我が国でも屈指の指揮者である福永陽一郎先生をお迎えし、市民の皆様合唱団の方々の美しいハーモニーをお聞かせいただけると存じております。皆様方のこの音楽演奏を通じ本市の文化活動が益々発展することを期待し、さらに皆様の会がいつまでもご発展することを祈りいたしてお祝いのことといたします。

小田原地区合唱連盟理事長 吉 田 晃

小田原男声合唱団の第1回演奏会を祝し、今後のご発展を心からお祈り申し上げます。かつて小田原にも男声合唱団が出来て期待されたのですが、いつの間にか姿を消してしまいました。学生層のうすい小田原に於て、男声合唱団の結成は至難であり、夢であったのです。指揮者福永陽一郎先生は、多少とも合唱経験のあるものにとってはるかな存在であり、一流の演奏会やレコードでしか接することが出来ませんでしたし、合唱団のメンバーも音楽教育にたずさわっておられる方や、豊かな合唱経験をおもちの方ばかりと承っております。それだけに、この合唱団の出現は画期的なできごとであり、合唱が広く市民に親しまれるように、そのレベルが向上するようにと願っているわが合唱連盟にとって正に珠宝を得たといつて過言ではありません。美しく、澄みきって、量感にあふれるハーモニーが、今宵を陶酔の世界へ導いてくださることを信じて、ひとこと御祝辞をのべさせていただきました。

全日本の旗手として

湘南合唱連盟理事長

長谷川 幸 雄

福永先生を常任指揮者にいただいた男声合唱団が生まれた。このことは単に小田原に一つの新しい合唱団が生まれたというだけではすまされない重大な意義を持っている。

今から4年前当時合唱界をゆざぶった「合唱は手軽な楽しみか」という福永先生の発言の内容を御記憶の方も多と思うが、その要旨は「日本の合唱は手のほどしきよりもないくらい絶望的なところまで来てしまっている」という認識の上にたち「その原因は合唱指導者と合唱団員の合唱に対する甘ったれた態度にある」というもので「コーラスは誰れでも手軽に参加できる」という大衆運動的考え方や「アマチュアの底辺の拡大が必要だ」という教条的な合唱界に警鐘をならしたのもとして私にはひどく共感が持てた。

その福永先生が初めて手がけられる一般合唱団としての小田原男声合唱団は生い立ちのその時から、合唱の好きな者が集まった集団、ではすまされない敷しさを持っていないけれども宿命にある。

常任指揮者福永陽一郎と小田原男声合唱団が県下のみならず全日本の合唱界の旗手として登場したことを心から喜ぶと共に高度な合唱団として活躍を続けていくことを祈念してやまない。

いつまでも美しい響を

小田原フィルハーモニー交響楽団

「歌いたくなくて歌いたくても歌っちゃおう。」そんな感じの野郎どもと福永先生。なにかも凄いエネルギー感のあふれた合唱団。これは、今年の正月に福永先生や、この男声合唱団の何人かのメンバーと一緒に一杯やりながら感じた印象である。今宵は初の定期演奏会ということで団員諸兄大いにはりきっていることだろうと思います。こういった雰囲気はいつまでも大切にしたいものだと思います。(老懸心ながら)。私ども小田フィルも創立12年になりますが、いつの頃からかマンネリ化してしまい、その改善に努力してきました。私ども小田フィルは未熟ではございますが、将来はジョイントコンサートなども出来るようになればと切望しています。

「男声合唱は重厚だが土くささもある。」などとよく云われますが、それはそれとして、やはり「小田原の男声合唱団ならでは」というようなものを作りあげ、今後の発展と、いつまでも美しい響を歌い続けてもらいたいものだと思っております。

(S記)

小田原吹奏楽研究会常任指揮者 植山達雄

2拍子も3拍子も兼ね備えた願っても無いすぐれた指導者と、レベル以上の団員構成に恵まれた<小田原男声合唱団>の誕生と、その旗上げとも言うべき、意義深い<第1回定期演奏会>の開催を心からお祝い申し上げます。まさに小田原の空に大きな灯をみたと思います。この第1回定期演奏会を機に、巾広く、息の長い活躍を期待し、豊かなメンタルハーモニーに根ざしに、すばらしい男声合唱を毎年何回かきかせてくださることを、楽しみにしております。

全国に合唱団はたくさんありますが、この合唱団のように、母体の無いに等しい一般団体は、その存続がなかなか難しいようです。幸にして、そのための条件のうち大きな二つを既に確保している小田原男声合唱団は、急速に充実し、たちまちレベルに乗ってしまふことと思えます。継続こそ偉大な力。福永先生を中心とした皆さんのご活躍をお祈りいたします。

小田原労音委員長 松野久雄

小田原に男声合唱団が創設される話しを発起人の方から聞き、記者クラブに紹介し、それが新聞に掲載されたのが、昨年の10月だったと思います。もう第1回の演奏会を開かれるとの事、おめでとうございます。

指揮者には、小田原労音と縁の深い福永陽一郎さん。亦、地方の音楽活動を支えて来た方々が、メンバーの中心になって、団が結成されたということは、今までの音楽活動が、わずかの浮き沈みはあったにしても、着実に発展しつつあるということを、ひしひしと感じた次第です。

小田原には、現在文化活動のために気楽に使用出来る施設がありません。昨年あたりから盛上って来た労働会館も、いろいろな方々との話し合いを深めながら、建設を促進したいものです。

良い音楽を聴こうと発足した小田原労音もすでに十数年を経過しました。小田原男声合唱団共々、これからの地方文化運動発展のため、手を取り合って進んでいきたいと思います。

小田原男声合唱団の創立に寄せて

男声合唱衰亡論が話題となっている今日、あらたに男声合唱団が誕生したことは、同じく男声合唱を愛し、歌い続けているわれわれにとって非常に大きな喜びである。

きけば、小田原男声合唱団は、単に同好者の趣味の集りの域を脱した大人の集団として、高度の音楽性を創造、追求することを目的として結成された由である。

この合唱団が、日頃私共の敬愛してやまない福永陽一郎氏のもとに、生命力あふれる男声合唱として門出し、止むことなく、活潑且つユニークな音楽活動を推進されることを心から期待して、小田原男声合唱団誕生のお祝いの言葉といたします。

最後に、貴団の創立記念・第1回定期演奏会の御成功を祈ります。

昭和47年4月20日

弘前メンネル・コーラル

「男声コーラスの声は性である」

男と女ありき、そして云々、洋の東西の昔話は性の意義を伝えた。男は動、女は愛である（現代はゴチャゴチャになっていて）

男は動的つまりダイナミックが第一条件で性的動である、つまり男らしさ。わが東京リーダーターフェルは合言葉に「女が濡らす男の歌をうたう」この言葉はターフェルのコーラス主題である。

すべての芸術は中性的性格つまり男のものとの共有的存在であり男の創る芸術は女性を女性に男性を刺戟し相対的人間価値観を目的としなければならぬ。男性コーラスの真髓は、ダイナミックでありセクシーであると信ずる。

福永の陽ちゃんとは20年余の友であり陽ちゃんはコマゴマとした理屈はきらいな方だが、こと音楽を創るとなると人一倍細い神経の持主であり男声・男性コーラスが大好きである。

音楽会の成功を祈ると共にいつの日か、ターフェルと一緒に歌いましょう男性コーラスを。

男声合唱団

東京リーダーターフェル
常任指導者 荒木 宏明

未だ会わざる親友達へ

小田原男声合唱団設立を聞き、血が湧き、たぎる思いです。真の合唱らしい響き、特殊な音がゆえに大切な男声合唱こそ、合唱者がいの永遠のふるさとです。経験者が多いことは実に頼もしく、それを指導するのが、福永陽ちゃんときては、名古屋から練習に通いたい程です。

「グノー」を「碑」を、「雨」を歌う、みなさん一人一人の熱っぽい、輝きにみちた瞳が見えるようです。

徹底した男のひびきで圧倒して下さい。

未だ会わざる親友たちへ、祈りをこめて、あいさつを贈ります。

東海メーブル・クワイアー

都 築 義 高

同じOMCで交歓音楽会を

大阪 メンズ・コーラス
林 節

小田原男声合唱団が誕生というニュースをきいて、妙なところで心配したのは我が**OSAKA MEN'S CHORUS**です。OMCが二つもあれば、やはり何となくまぎらわしいですからねえ。それに、何らかの形で福永陽一郎氏とかかわっているとなると余計。

さて、手軽で刺激の強い遊びが氾濫し、一種の拘束や強制が伴なう合唱活動が、その種類を問わず沈滞気味にあるといわざるを得ない。昨今、強力なおのこたちがあつまって事を起すことに至られたらについて、無条件で祝盃をあげさせていただきます。

交歓音楽会というものが、稀な例外を別にしておよそ大した意味を持たないことは承知の上で、もし今後何らかのチャンスがあればお互いにききあええる場を持ちたいものだと願いつつ、お披露目の会へのごあいさつとさせていただきます。

OSAKA MEN'S CHORUS

広島心を小田原で!!

広島メンネル・コール
代表者 山本定男

このたび小田原男声合唱団が発足され、その創立記念第1回定期演奏会が開かれることを聞き心からお祝い申し上げます。

私も広島において同じ男声合唱をやっておる1人として、また福永陽一郎先生にはかつて私共の合唱団をご指導いただいたこともあり、小田原に同好の友を得たことは心強い限りです。ことに第1回の記念すべき演奏会で「碑」を取り上げられたことは、この曲が私共の創立15周年を記念して委嘱し発表したものであるだけに一層の共感を呼び起します。

この碑にある広島二中は私の母校です。当時私は2年生、同じ被爆下にありましたが、運命は幼い1年生に全滅という悲劇をもたらせたのです。また作詩の薄田純一郎氏も作曲の森脇三氏も共に広島二中の出身です。期せずして同窓生によって作り上げ発表したこの曲は、幼くして散った後輩への鎮魂と広島悲劇を二度と繰り返さない悲願を込め心血を注いで作られたものです。

どうか広島心を小田原に歌いあげてください。

最後に小田原男声合唱団のご活躍とご発展を祈り、いつの日か交友の機会が持てますことを願っております。

おめでとう 第一回演奏会

クローバー・クラブ

小田原男声合唱団が、創立記念の第1回演奏会を催されます由、心からお慶び申しあげます。今日、私たちの周囲には、公善による汚染、人問性の荒廃、たのしからざる状況が刻々増大しているように見受けられますが、その中で、心にうるおいを求め、歌をうたい続けようとする仲間がまだまじまじに存在することを知って、同じく合唱音楽を愛するものとして、たいへん嬉しく思います。

男声合唱のベテランである福永陽一郎氏のバトンのもとで、われわれもうたうたったことがあり、同じような感激を味あわれることを想像しながら、今後、お互いの交流を深め、あるいは友として、また良きライバルとして、日本の合唱界に、常に新鮮な息吹を吹きこみつつ前進してゆきたいと考えます。

一層の躍進を期待しながら、第1回の演奏会が大成功を収められんことを、心からお祈りいたします。

PROGRAM

I 第二番ミサ曲ト長調より

キリエ

グローリア

アニュス・デエイ

作曲 F. Gounod

オルガン 新井省吾

II 男声合唱組曲「雨」

1. 雨の来る前 (伊藤整 作詩)
2. 武蔵野の雨 (大木惇夫 作詩)
3. 雨の日の遊動円木 (大木惇夫 作詩)
4. 十一月にふる雨 (堀口大学 作詩)
5. 雨の日に見る (大木惇夫 作詩)
6. 雨 (八木重吉 作詩)

作曲 多田武彦

III 男声合唱のためのレクイエム「碑」

1. 序章
2. 点呼
3. 爆発
4. 川の中で
5. 時間割
6. まさちゃん お母さんよ
7. 船の中で
8. 全滅

作詩 薄田純一郎

作曲 森脇憲三

伴奏 新井省吾

作曲者の御了解を得て「9. 終章」を割愛いたしました。

休憩

IV ポピュラー・ヒット・ベスト・アルバム

1. ある愛の詩
2. コンドルは飛んで行く
3. Yesterday
4. 雨に濡れても

Francis Lai
 Alomia Roblez
 Paul McCartney
 John Lennon,
 Burt Bacharach
 ピアノ 新井省吾
 ギター 川瀬竜雄

V 日本民謡集

1. ソーラン節
2. 南部牛追い唄
3. 最上川舟唄
4. 音戸の舟唄
5. おてもやん

独唱 長谷川 幸雄 (雨)
 柏木 秀茂 (南部牛追い唄)
 松本 和夫 (")
 吉田 晃 (最上川舟唄)
 大塚 正夫 (音戸の舟唄)
 山 神 秀 人 (おてもやん)
 太鼓 下 田 誠 一

「第二番ミサ曲」ト長調 ゲノー作曲

福永陽一郎

シャルル・フランソワ・グノーの名前は、日本でもよく知られている。19世紀のフランスの作曲家として、そして何よりもまず、あの華やかなグランド・オペラ「ファウスト」の作者として広く知られているし、また、オペラ「ファウスト」の内容についてくわしく知らない人でも、「アヴェ・マリア」や「セレナード」を知っていて、グノーの名な作曲家と知っているかも知れない。グノーは大作曲家であって、彼の作品をよく知らないのは、自分のほうの知識不足だと思っているかも知れない。

しかし、事実、グノーは、オペラ「ファウスト」や、小さな歌曲が世俗的に成功しただけであって、作曲家としては、二流。パリ音学院の院長として、また、ノートルダム大聖堂のシャルトルオルガニストとして、地味な存在だったのである。音楽史のなかでは、フランスの作曲家として、ベルリオーズ、ビゼ、フランク、フォーレと出てきても、その中間にあるグノーは、出てこないことが多い。もともと、生存中は、フランクなどよりずっと高名で、フランクを馬鹿にした発言は、いろいろ残っている。

グノーの作品表の大部を占めるのは、オペラでも歌曲でもなく、実は宗教音楽である。実際に彼は宗教音楽の書法に熟練していたし、また、音楽の中の官能的な甘味を、宗教的な神秘と結合させることに、他人にはできない卓越した手腕を発揮した。それゆえ、オペラ「ファウスト」の前奏曲や第三幕の教会の場面や、終幕のマルグリートの昇天の音楽など、劇音楽の中でも、宗教的雰囲気色濃くえがきだすのに成功しているのである。

グノーの宗教音楽は、ベルリオーズ以後のこととして当然のことながら、オーケストラと大合唱による、スケールの大きい作品が多いわけであるが、「ミサ・ソレムニス」ト長調、「聖チェチリアのミサ曲」、「ジャンス・ダルクのための追悼ミサ曲」に代表される混声合唱用の大作のかたわらに、男声合唱用のミサ曲が二曲、現存している。オペラ「ファウスト」の「兵士の合唱」は、日本でも古くから多くの男声合唱団によって愛唱されてきたが、そこに見られる、男声合唱の機能に対する深い知識と、その響鳴の魅力を活用する技法は、ミサ曲に於ても十二分に使いつくされてきていて、男声合唱用の宗教曲という、良い楽曲にめぐまれない部門に於て、グノーのミサ曲は、ひときわ光輝をはなっていると言えるべきである。

グノーは、かなり長い年数、フランスの全国的な男声合唱運動の組織である「レ・ソシエテ・コラル」またの呼び名を「オルフェオン」の会長をつとめていたが、その運動のために、ふたつのミサ曲を書いた。いずれも、省略可能なオルガン伴奏を持つもので、第一番はハ長調。女声二部のオブリガートを持つ男声三部合唱用である。

本日演奏される「第二ミサ」は、正式には「シヤルル・グノー作曲、オルガン伴奏（省略可能）付き、男声四部のための、合唱協会のために書かれた第二番ミサ曲、ト長調」という長いタイトルを持っていて、パリ合唱協会連合のセーヌ河支部に捧呈されている。第一のハ長調のものが「オクゾルフエオニステ」と呼ばれているのに対し、こちらは「デゾルフエオニステ」と呼ばれて、親しまれている。この曲と同じ曲の、同声三部合唱用（オルガン伴奏付）のものは、通常、グノーの第三ミサと呼ばれている。

全体は、ミサ通常文に従って、「キリエ」「グロリア」「クレード」「サンクトゥス」「オ・サルタリス」「アニュス」「ファクトゥス」の六章のほか、三部分分ち或る「ドミネ・サルヴァ・ファク」をふくめたものとなっているが、本日は、そのうち、「キリエ」「グロリア」「アニュス」の三曲を演奏する。

楽曲は典型的なホモフォニーの合唱曲となっていて、転調も、それほどはげしいものではなく、自然な流れで統一されている。「グロリア」では、最初の、本来は司祭が朗詠する一句も、合唱によってうたわれるようになっていて、このミサ曲が、最初から典礼用のものでなく、演奏会用であったことを示している。

このミサ曲は、昭和10年代に、すでに関西学院グリーククラブによって日本初演がおこなわれているが、そのときは、「アメリカのジャーマー社」から出版された流布本によって演奏されたのだし、また昭和37年の慶応ワグネル・ソサイエティによる演奏は、これもアメリカからのフィッシュャー社出版のアーサー・ライダーの校訂になる楽譜を使用したものである。本日の使用楽譜は、フランスのオルフォング・ルデニック社（グノーの全作品の出版元）のオルジナル楽譜であって、この原譜による全曲演奏は、まだ、日本でおこなわれたことがない。

男声合唱組曲「雨」 多田武彦 作曲

多田武彦は、最初の作品を昭和28年に発表したのだから、作曲歴は、ぼつぼつ20年に達しようとしているわけである。その数多い作品の大部分が男声合唱曲であって、事実、彼ほど、演奏効果の高い男声合唱曲を書ける作曲家は、日本に、肩を並べものはいないと言っよい。

京大法学部出身で、一流銀行の役職にある多田武彦は、自称、日曜作家であり、みずから「しろうと」であるかのように発言するが作品の質と量から、また愛唱される度合から言って、むしろ、日本の合唱音楽作曲家の第一人者であり、楽譜とレコードは、いずれも異例の売行を示している。そのベスト・セラーのありさまを見ても、彼が、たゞの「しろうと」でないことは歴然としている。

如女作の「柳河風俗詩」以来、男声合唱組曲は20の多数にのぼるが、いまだに最高の作品としてあげられる「柳河風俗詩」と同様の、親しみ易くうたい易い合唱曲を書こうとしたと、作曲家自心が初心に歸ったつもとりに言っているのが、本日演奏される「雨」である。

雨は、人間にとって、ずいぶんと親しい間柄である。そのうっとおしい自然現象は、昔から人間にいろいろな孤独感や悲哀感をあたえてきた。

同時に、雨があがるときの、あの清らかなすがすがしさをも、しみじみと心に伝えてくれた。そういう、さまざまな雨と、そのときどきの人間の心との交流を主題にして、私(多田)は、この作品を、心をこめて書いてみた。

昔、ギリシャでは、心をこめて創作をおこなうときには「芸術の神・ミュージズ」が作者の心に宿るといわれていた。そうであるが、昭和35年に第一曲「雨の来る前」に続いて第二曲の「武蔵野の雨」を書くために、武蔵野の奥深く取材に出かけたとき、私は、私の心にミュージズが宿るのを呼ばれた。

第一曲と第二曲によって、自然現象としての、力強い、うっとおしい、わびしい雨をとらえた私は、第三曲「雨の日の遊動円木」では、人のいない雨の日の児童公園のつめたい風情のなかに、人間の孤独感をにじませ、第四曲「十一月にふる雨」では、突き刺すようなモチャーフの、担々としたくりに見えて、悲哀感を盛りあげてみた。

そして、第五曲「雨の日に見る」では、冬の雨の日、あのもやのかかったような冷気を通して、孤独感や悲哀感にうちひしがれた主人公が、庭に見事に笑ったザボン——ある人にとっては、それは到底実現しそうにもない輝やかしい理想であり、ある人にとっては、それは手とどかない所にいる恋人であるが——と離れてじっと座っている姿を、浮彫りにし、第六曲「雨」では、こうした悩みや苦しみから昇華し切った主人公が、溢れ出ようとすると涙をこぼして、しみじみうたい、終わる曲想とした。

「武蔵野の雨」で私の心に宿ったミュージズは、この作品を書いているあいだ中、私の心の中にいたが、終曲が鳴り終わると同時に消えていった。私は、この曲ができあがったとき、「今後いつでも作曲の筆を折ってもよい」と思ったし、とりわけ第六曲「雨」は、私の臨終における鎮魂曲として、私の心の奥深く刻みこまれてしまった。

以上のように、多田武彦は、この作品について書いている。

多田武彦の作品とは、私(福永)は、その最初の一曲から、実際に演奏し、また深くつきあってきた。多田が、自作の指揮者として、もっとも信頼を置いているのは、北村協一のように、忌憚の無い意見を交わしあう仲として、また、いくつかの曲に関しては、最適の解釈者として扱ってくれてくれたようである。現在、市販されているレコードで、「柳河風俗詩」と「中勸助の詩より」が、北村協一の指揮のと私のと競合しているが、「雨」に関しては北村指揮のものしか出ておらず、私にとっては本日の演奏が初公演である。テンポその他で、ずいぶん違った外面に仕上がっているのだが、この作品の美しく哀しい面は、出せていると思う。

男声合唱のためのレクイエム「碑」 森脇憲三 作曲

戦争が終って、四半世紀がとくに過ぎ、戦争体験は、すっかり風化してしまっただかかに見える。そして、戦争を知らない子供達が、戦争を無視するかのよくな無責任な発言をしている。しかし、記憶があり、恐怖を感じる大人たちは、影のように、そこいらをうろつっている戦争の予感を、見残した悪夢のように、追いかかっている。

ここに今、提出されたものは、否応なしに戦争を知らされた子供達のことをうたった歌である。子供達が、身を以って戦争を知ったとき、同時に彼等にあつたものは「死」である。いまの、戦争を知らない子供達が戦争を知る日、それが、死の日でない、誰にも言うことができない。そのような日がないために、昔の、実際にあつた「死の日」をうたい、思いおこし、心に刻みつけ、同じ日を二度とくり返さないように自分自身に確認することは、いつでも、また何度でもしなければならぬことではないか。

現在、「その」慰霊碑は、広島市の平和公園、広島公会堂のまん前の川土手に建っていて、何度も、演奏のために広島を訪れた私(福永)は、この慰霊碑をよく知っている。川に面した側に、322人の、当時13才だった中学1年生の、第1学級から第6学級まで全員の名前が、ほりぎざんである。今では観音高校と名を変えている、まえの広島二中の現在の生徒たちは、毎月、6の日に、自分たちの先輩の慰霊碑を洗い清めて、その霊をなぐさめているという。

この紙面で広島にとって運命の日であつた8月6日についての記録を並べようとは思わないが、勤務動員で地元を離れていた上級生を別にした、一枚の生徒の全員が、一発の爆弾によって、焼けたとされて死んでいったという、有り得べからざる事態。そのような悲しさは、現実の詩や曲のありかたを離れて、人々を打つものがある。それには、作曲家、作詩者、そして初演者(広島メンネル・コール現指揮者、山本定男)の3人ともが、広島二中の卒業生であるという、浅からぬ因縁が大きく影響していると思われる。作品そのものは、かなり不安定な仕上りを示しており、そのまゝでは、さして心をとらえる物と言いきれないけれど、にもかゝらず、創作の裏にはたたらいたであらう強い感情が、ひとつの力となって、聴く人を引っぱってゆく。

原爆に関する音楽作品は数多い。その大半は声楽をとまなっており、いくつかは合唱曲である。はじめに書いたとおり、このテーマは、われわれ日本人にとっては勿論のこと、人類全体に、永久にかかわりのある課題である。本日の演奏曲目である「碑」は、音楽としても詩としても、深く心の底にうたえてくれる力に欠けている。しかし、この問題に関しては、どんな小さい一石でも、大切なことには変りはない。

森脇憲三は、私(福永)にとつて初当時の恩師である。九州の在住だが、多くの合唱作品が出版されている。すぐれたものが、とくに女声合唱曲に多く、私のレパートリーにもはいっているが、男声合唱曲には不満が多く、めったに取りあげたことがない。その点、志恩の弟子と言われてもしかたがないが、今回は、楽譜のミスを訂正する以外、あまり手を加えなかった。男声合唱の機能の上での改良が、原曲の、見えないヴァイタリティをそこなうことを恐れたからである。いつの日か、作者自身によ

る全面的改訂版が出ることを期待したい。

なお、この曲は、本夕が大坂以東での初演になるかと思われるが、中学校の教職にいる者の多い小田原男声による演奏は、また格別の盛り上がりが見られるのではないか。音楽には、そうした技術以外の力がはたらくことがあるものだ。その力に頼るのではなく、そうしたのもふくめて、深く強い演奏をしたいものである。

ポピュラー・ヒット・ベスト・アルバム

当代ヒット・メーカーの御三家であるフランシス・レイ、バート・バカラック、ポール・サイモンにビートルズを加えたベスト・アルバムは、小田原男声のために書き下ろされた最初のスベジヤル・アレンジで、当然のことながら、本夕が初演奏である。

私（福永）の、男声合唱用の編曲作品は、とりに一千曲を越しているのだが、編曲というものは、なるべくならば、それなりたう合唱団を承知したうえの、オーダー・メードであるべきで、合唱団が新しくなれば編曲も新しくやりなおされなければならぬ。「ある愛の詩」は、はじめての編曲だが「イエスタデイ」にいたっては、今回が五度目の新編曲である。小田原男声ができたことで、また、私の新編曲の数が増えてゆくにちがいない。

「ある愛の詩」エリック・シガルのベスト・セラ小説を、アーサー・ヒラー監督が映画化した「ラヴ・ストーリー」のテーマ音楽で、もともとピアノを中心としたムード音楽であったのに、歌詞がつけられ、（英語はカール・シグマンによる）、1970年の最大のヒット・ソングとなったもの。編曲はジョバン風のクラシック調を基調にし、大胆な転調をともなったスケールの大きい仕上げになっている。

「コンドルは飛んでゆく」南米はペルーに、古代さかえたインカ帝国の名残りを伝える、アンデス山中の古い民族音楽ヤラビのメロディーのひとつを、アロミアス・ロブレスが作曲した民謡風の小曲。フランスの映画女優兼シンガーのマリ・ラフォレが、パリで公演中のロス・インカスの演奏するこの曲が気に入って、ミシェル・ジュルダンにフランス語の歌詞を書かせて、ロス・インカスと共にレコーディングした。同じレコードに、ラフォレは、ポール・サイモンの「サウンド・オブ・サイレンス」を入れており、それを贈られて聞いたポール・サイモンが、この「コンドル……」が気に入って、英語の歌詞をつくり、またまたロス・インカスと共演でレコードに入れたのが、サイモンとガーファインクルのベスト・ファイブにはいるヒットとなった。哀愁と陽気さの混在した奇妙な気分の歌曲である。

「イエスタデイ」ビートルズのトップ・ヒットのひとつ。ジョン・レノンとポール・マッカートニーが共作した数多い歌の中で、もっとも常識的に、良い意味で常識的にまとまった、甘いメロロディの流れる歌曲。編曲は、ほとんど無伴奏のパラード風に、自由にくずしてうたうように書かれている。もう12年も前のヒット・ソングだから、すでにスタンダードな名曲と呼ばれてもよい、不滅の名曲に対して、編曲のスタイルは、類型的でない動きを持っている。

「雨にぬれても」ここ数年、飛ぶ鳥も落ち勢いのバート・バカラック。そのバカラックが、1969年に、映画「明日の向って撃て」の主題歌として書き、次の年にビリー・トーマスがセブター・レコードに録音して、空前のヒットとなった名曲。ウエスタン調にバカラック・サウンドを加味したしゃれた仕上げで、ときに、とっさの悪い難かしいメモロディーを書くバカラックにしては、かなりララックした曲づくりを示している。編曲はレイ・コニア調にジャズな仕上げになっているが、平均年令の高小田原男声、これをどうこなすが、ちょっとした聴きもの。

日本民謡集

日本民謡の、合唱曲への編成の手法に、きまった典型というものはあるわけではない。同時に大勢の人間が声を出すということは、日本民謡にとっても、ごく当然の様相であったが、何部かのパートがハーモニーをつくりだすということは、絶対になかったわけで、その点、もっとも、合唱という演奏形態とほど遠いのが、日本民謡であるわけだ。

そこで、それぞれの作曲家は、自己の独特のメロディに従って、別個の手法で合唱曲としての日本民謡を書くわけであり、その結果は千差万別である。しかし、そのなかから、ぼつぼつ、スタンダードなものとして、安定した仕上がりを持っていると認められた編曲が、いくつか目立ってきた。本日の演奏曲目とその編曲は、そうした、時間の承認を得た、定評のあるものばかりである。

はじめの三曲、「ソーラン節」「牛追い唄」「最上川舟」の三曲は、清水脩の名作であるが、そのうち「ソーラン節」は、清水脩の男声合唱用の作品ではなくて、混声合唱用のものを、福永陽一郎が再編曲した版である。清水脩ほどの、男声合唱用のすぐれた書き手でも、必ずしも男声合唱の機能を100パーセント心得ているわけではないことを、両方の楽譜を見くらべてもらえば、判断してもらえらると思う。

「音戸の舟唄」は「広島舟唄」とも呼ばれ、「おてもやん」と共に、福永の日本民謡編曲中、もっともよくうたわれていたものだが、本日は、その「おてもやん」を、オリジナル・アイディアに従って、日本太鼓のおはやしをつけて演奏する。

I 雨の来る前

伊藤 整 作詩

ざあつとやつて来いよ 夏の雨
 地上のすべてのものは用意している。
 山の麓から低くかぶさってしまった曇よ。
 夏の緑はうす暗い陰におおわれ
 物ほしに白いものがかり
 燕は黒く曇天の下を飛び交い
 人は重い頭をして室にいる。
 降って来いよ。夏の夕立
 その時 始めて人の目はほつと開かれ
 草木も葉を そよがせるのだ。

II 武蔵野の雨

大木 惇夫 作詩

群鳥を追いながら
 どの土地を濡らしにゆく
 月の夜ごろを掠める雨
 櫛の匂いのふんとする雨
 武蔵野の雨

III 雨の日の遊動円木

大木 惇夫 作詩

雨の日の遊動円木
 びしょびしょ濡れて、ただ光って、
 動くは低い雲ばかり。

雨の日の遊動円木
 鐘が鳴つても、昼やすみでも、
 ゆすぶるものは 風ばかり。

雨の日の遊動円木
 落ちる銀杏葉、ゆかりの葉
 雀が吹かれて、乗るばかり。

雨の日の遊動円木
 びしょびしょ濡れて、もう日も暮れて
 八ツ手の花が 見ているばかり。

IV 十一月にふる雨

堀口 大 作詩

十一月は うらがなし
 世界を濡し 雨がふる。

十一月に ふる雨は
 あかつき来れど なお止まず！

初冬の皮膚に ふる雨の
 真実つめたい かなしきよ！

されば木の葉の 埋えもせで
 鵞 鴨も身ふるいす！

十一月に ふる雨は
 夕暮来れど なお止まず！

されば乞食の いこう可き
 ベンチもあらぬ 哀きよ！

十一月に ふる雨に
 世界一列 ぬれにけり！

王の宮殿も ぬれにけり
 非人の小屋も ぬれにけり！

十一月に ふる雨は
 夜来れども なお止まず！

逢引のみやび男も ぬれにけり
 みやび女も ぬれそぼちけり！

V 雨の日に見る

大木 惇夫 作詩

冬、ほのぐらい雨の日は
 朱朶が輝く、
 朱朶が……

これは、眼をひらいて見る夢なのか。

街燈は ぬれている、
 泥靴は 喘いでいる、
 風は 雀をふつ飛ばしている、
 人間の後姿は いそいでいる、
 歌は 絶えている、
 電線は 牽っている、
 枯木は ぶるえている、
 わたしの身体は 凍えている
 わたしは 祈りをすすめている、
 そうして、わたしはただ見る、
 ほのぐらい雨の影のなかに
 ぼつかり朱朶の浮ぶのを 輝くのを。

VI 雨

八木 重吉 作詩

雨のおとが きこえる
 雨がふっていたのだ。

あのおとのように そつと世のために
 はたらいていよう。

雨があがるように しずかに死んでゆこう。

レクイエム『碑』

薄田純一郎——詩

1 序章

広島川のほとり
少年の名を刻む
いしぶみの建つ

あすを思い
勉強にいそしみ
校庭を駆け回りし子ら

戦いありて
夢も果せず
原子の業火に焼かる

石の肌つめたく
深く刻まれし
子らの名三百余
いままも変わらぬ
清い流れみつめ

子らは叫ぶ
広島悲しみ
はてしなき怒り
警鐘を聞けと

2 点呼

昭和20年
暑い八月の朝
本川の土手に
中学生が集まった

広島二中の
1年生が並んで
作業前の点呼を
元気にうける

お国のために

勉強も止めて
作業にかり出された
ひよわな子たち
いがぐり坊主が
青い夏の空に
声を張り上げる
1, 2, 3, 4

本川の清い流れが
元気な声を
川面にのせて運ぶ
1, 2, 3, 4, 5, 6

そして運命の時
8時15分
点呼は
絶叫に変わった

3 爆発

千の太陽を
一瞬に集めて
それは現われ
光と化してふいた

巨大な火の球が
空と大地をおおい
風と火が走って
広島を焼いた

音の消えた
しじまの中を
火だけがたけり狂い
風だけが走り荒れる

生けるもの
すべてを焼き
業火は地中すら
深くえぐる

子らは焼け
もえる砂をかきわけ
たぎる川に
追いたてられる

4 川の中で

光にめしいた

友達が手を組んで
子らの丸き輪が
地獄の川に浮ぶ

浅瀬にとりつき
石垣をよじのぼる
生徒に手をさしのべる
傷ついた先生

きみは傷が軽い
元気を出して
がんばって
家に帰るんだ

わたしはもう
歩けない
だがきみは元気だ
さあ 握手して

焼かれた広島
業火が 炎が
川面に吹きつけ
流れはわきたつ

傷重く力尽き
疲れた子がひとり
友の手をはなれて
叫びながら流れる

狂気の荒れる
地獄の川で
子らはけなげに
せいいっぱいうたう

日本ばんざい
お母ちゃんばんざい
もう一度あいたいよ

5 時間割

2列に並んで
正門をくぐる
授業のある日が
ほんとに楽しい

月曜日の朝は
国文法に教練

生物に地理
そして昼めした

ポプラの校庭を
かけ回る休み時間も
好きだけど
やっぱり体操が一番いい

プールの水が
とつてもつめたい
どんぶ飛びこんで
浮いてみたら
夏の空が
遠く遠く 青く青く
先生とみんなが
にっこり笑ってた

6 まさちゃん お母さんよ

朝から昼へ
昼から夜へ
燃えつきる広島
道を母は走る

土手を走り
名をよぶ母

まさちゃん わかる
お母さんがきたのよ
助けにきたのよ

兄ちゃんもきたのよ
助けにきたのよ
家に帰ろうね
家に帰るのよ わかる

7 船の中で

船がゆれると
空が動いて
雲がゆらぐ

島の家に帰る
ひさしぶりに
帰れるんだ

傷が治ったら
お父さん

つりに行こう
いつかのように
また ほくの方が
たくさんつるよ

船がゆれると
傷が痛いけど
雲が魚に見える

8 全滅

渋江くんは
がん木の石段で
二目の朝
涙の顔で

朝日をおがんで死んだ

手をとって
励ましあって
逃げた羽白くんは
南くんと道ばたで
並んで息絶えた

お寺の救護所で
坪木くんはいじらしく
夢で親にあうから
いいよと
静かに息をひきとった

ほかの1年生たちは
家路の途中で
たどりついた家で
つぎつぎに死んだ

日がのぼり 落ち
五日目の朝
最後の一人が
桜美くんが死んだ

8月6日が彼の誕生日
13才と5日を
せいっぱい生きて
桜美くんは死んだ

父の歌う
好きな軍歌を
ききながら
父を見上げて死んだ

三百二十二の
広島二中の
1年生はみんな
原爆の中に死んだ

悲しみと
怒りに母は
身をふるわせて
はげしくうたう

烈日の
真上にありて八月は
腹の底より
泣き叫びたき

MENBARS

代表者 興 石 昭 次

運営委員長 長谷川 幸雄

パートマネージャー

副指揮者 大塚 正夫

ヴォイストレーナー 松本 和夫

パートリーダー

T₁ 鈴木 広 始

T₂ 瀬戸 孝 則

B₁ 浜口 強

B₂ 速水 徹

会計 板橋 正彦

福井 隆

事務局 長井 忠彦

T₁ 吉田 晃

T₂ 福井 靖史

B₁ 柏木 茂

B₂ 坂口 宗夫

T₁ (トップリーダー)

大塚 正夫

加藤 治信

近藤 国男

鈴木 広始

須藤 敏明

高地 次雄

地角 雄雄

長谷川 孝

藤田 悌

吉田 晃

T₂ (セカンドリーダー)

青野 純

石橋 三

加藤 泰

佐藤 和

志村 信

下村 薫

須原 学

瀬戸 毅

坪井 一

福井 則

福井 士

松本 隆

山本 史

宮越 夫

重宏

B₁ (バリトン)

板橋 正彦

伊東 邦昭

遠藤 弘也

鉦鹿 也

尾登 茂

柏木 次

興石 強

浜口 人

山 秀

B₂ (バス)

阿部 年雄

井上 幹彦

井上 忠臣

加藤 裕男

亀井 幸司

佐藤 有夫

坂口 宗

速水 徹

渡辺 誠之



トップ・テナー

- ◎大塚正夫 歌につられて酒を楽しむ、酒につられて歌を楽しむ。どちらもあるがたいが楽しい楽しみ。暇をみつけては庭木をいじり(年はまだ若い)自然に親しむのは大好きです。小田原市下新田在住。大磯小学校教員。
- ◎加藤治信 職業富士ゼロックス勤務。趣味今日すること、テニス。体形の特徴は鳩胸出尻。これ、歌をうたうのに有利。
- ◎近藤国男 ものごころついでから今に至るまで小田原の城山の奥深くひとりぐらしの男声あり。スポーツを好み、山にあこがれ、海に親しむ。桜井小学校教員。
- ◎鈴木広治 小田原城内小学校教員。寝ていることが一番楽しい男。アパートでねずみと共同生活。フルートを少々。現在独身。小田原市鴨宮在住。
- ◎須藤 巖 下府中小学校教員。趣味、音楽と読書(サーサガ) 秦野市菖蒲在住。
- ◎高松義明 新玉小学校教員。小田原少年少女合唱隊指導者。子ども達に歌わせて20年。最近教わることの辛さも少しばかり感じてきたところ。団員中の最年長というのにトップ・テナーなんですからねえ。市内南町在住。
- ◎地村独活(じむらうど) 大井小学校教員。片想いをすること十数回、見合いも又数を重ねて十回近い。独身。みちのくよりみかんの花香る大井町に移り住んで4年目の春を迎える。
- ◎角田恒雄 城内小学校を経て今年から山北中学教員。独身。
- ◎長谷川幸雄 県土木事務所勤務する公務員。中学生のころ声がいゝとおだてられて、その気になってからいまだにそれっぱなし。二児の父だがコーラスとそのメンバーの方が可愛い。36才。東京出身。栢山在住。
- ◎藤田樺三 小田原市中町在住。母は静、妻はすみ江、長女が和泉、長男孝則。往復4時間かかって霞関ビルまで通勤するのが趣味、そこで船舶燃料、潤滑油などを商いするのが職業、合唱歴20年余のキチガイ。
- ◎吉田 晃 お栗の御用命承ります。合唱しかやったことありません。自分ではないかと思っているが人はどう思っているか?一度だけしかしていません。(ナンのことだかさっぱりわかりわらん一編集注) 市内栄町在住。

セカンド・テナー

- ◎青野正純 1, 4, 7 (麻雀じゃない) 才の三豚児の父。「飲むこと」「唱うこと」「暮をうつこと」はさそわれると滅多にいやと云いません。富士フイルム勤務。体重75kg, 理屈抜きに理屈を云うのがくせ。
- ◎石橋泰三 二宮小学校教員。趣味はしんでたのしむ登山。出身は北国の青森で寒さに強い得な男。実は金がなくストープも買えないで冬になるとふるえている可愛想な男。現在独身のきらくな身の上。二宮町在住。
- ◎加藤和信 富士フイルム勤務。東北からトコトコ汽車にのってやってきたら、乱立する東京の高層ビルにタマげ、こりゃ、肌にあわんと思っているうち畑や田んぼが見えて南足柄に着いた。第二の故郷だと思った。
- ◎佐藤 薫 湯河原小学校教員。趣味、玉のつくものなら何でもこなす??? 生国と発しますのは南部盛岡。その心はあくまでも雪のごとく清く白い。妻しん子供2人。メザシ大好物。これ晚しゃく用。二宮在住。
- ◎志村 学 第一生命大井勤務。26才独身。性質温健朗明世話好き村。人づき合も結構いける。趣味ハイキング。合唱かけだしのため多少音程に不安あり。よろしく。
- ◎下村興毅 こうきと読む。今年小学校に入学したのが長男、幼稚園に入園したのが長女。良きパート十一が1人。これ妻。男も30才をこすとしっかりするものだの実感中。男声のハーモニーの中で音を楽しんでいる所。酒匂在住。
- ◎須原清一 三國工業男声カルテット10年、合唱と仕事が趣味、妻も合唱好き、南足柄在住。仕事忙がしく休団。
- ◎瀬戸孝則 学生21才。合唱団中の最年少。趣味、釣りと山にを歩くこと。一生の楽しみとして合唱団の活動に参加してゆこうと決心しています。南足柄在住。
- ◎福井 隆 富士フイルム勤務。合唱団きってのハンサム。ただいま新婚ホヤホヤ。南足柄町在住。
- ◎福井靖史 大磯小学校教員。新橋市出身。信濃川のほとりに育ち色白の美少年。男性より女性に頼りがいのある男。趣味大食。先月長男誕生し今から発声を教えて楽しんでる。
- ◎松本和夫 中井中学校教員。趣味はつり。好物はお米のエキスすなわち酒。長いこと人間をやっています。これからもずーとんで歌って楽しい人生を送りたいと思っています。南町在住。
- ◎山本和重 真鶴小学校教員。趣味スポーツ、囲碁その他。海をこよなく愛し休みのたびに釣りに行くが、いっもエサを海にまいてくるお人好し。小田原市内下堀在住。
- ◎坪井孝士 富士フイルム勤務。岡山の産。縁を求めて足柄に来る。以来10年日々は好日。
- ◎宮越一宏 小田原市役所建築課勤務。家族3人。趣味レコード鑑賞。音楽はとくに角素晴らしい。

自己紹介

バリトン

- ◎橋正彦 1945年生れ。井上楽器店にて「音楽への愛情」の販売を職とす。仕事が忙がしく登山の機会に恵まれなくなりハーケンの歌う声を懐しむ。音楽文化興隆のため尽力惜しまず、久野在任。
- ◎伊東清邦 箱根小学校勤務。年令ほどに顔はおささなく、自分の住んでいる所を忘れる音気者。一度だけ聞いた音で歌えたためしかない、子供を相手に悪戦苦闘。「先生、先生」の言葉に泣く男です。
- ◎藤原正昭 (平塚市立旭小学校) 全国音痴協会名誉会員としてバリトンに所属し、大事な音に微妙な変化をつけている合唱狂。毎週小田原に行って一週間のうさ晴らしに7時からの2時間を楽しみに待っている男です。けっばります。
- ◎紅鹿明弘 コムで自己紹介をしたって今日の演奏をよく聴いてもらえなわけじゃなし、後で僕だけが沢山のお手紙をもらうのも大人気ないと思う。唱うことは生理的・心理的に非常に良いと思うだけさ。 Have A Nice Day.
- ◎尾登幸弥 県立青少年会館勤務。34。平凡な生活の中から生れた平凡な人間の典型。特長なし、どこにでもいるようで見つけようとするのと見つからないそんな人間。松田在任。
- ◎柏木秀茂 県教育庁体育課勤務。いくつになってもコーラスをやめられない男。男声合唱団では指揮棒をはなれ歌うことに専念し楽しんでます。南部半道唄はむごかしい。木雁会や南エコーもお忘れなく。これコマーシャル。市内南町在任。妻子あり。
- ◎興石昭次 白山中学校教員。趣味スキー、経験1世紀、オーストリアスキーから無茶苦茶流まで。四善2%段、ただし人は%を認めない。1男2女のよき父親。箱根町宮城野在任。
- ◎浜口 強 日立小田原勤務。世に出れば中年、合唱団ではフレッシュ・マム、音の方も並外れの外れ放し、枯木も山のにぎわいとがんばっています。日立東成田寮。
- ◎山神秀人 県工芸指導所勤務、趣味音楽といきたいが、その域に達していない。特技ウドンドだのソバ、ラーメンの早喰い。妻あり。開成町在任。

バス

- ◎阿部年男 最初の練習日に、迫力ある歌声と、重厚な和音の響きに思わず感激、この体が身振いた。しかし気がかりなことは、うら若き女声が一人もいないことである。四国出身、平塚市立旭小学校教員、平塚在任。
- ◎井上幹夫 三國工業男声カルテットメンバー。仕事忙がしく休団中。
- ◎井上忠彦 合唱をはじめ20年。ついに音楽だけが生きがいになって楽器店を経営。念願の男声合唱団も出来たし云うことなし。ひまがあつたらゴルフをやりたい。妻と2人の子供と母あり。市内富水に在任。
- ◎加藤裕臣 商和貿易部に勤務。東京の独身寮がネグランドが合唱団の練習には必ず来る。コーラスの醍醐味にとりつかれて10年。
- ◎亀井幸男 書店経営、趣味音楽を鑑賞すること、読書。特技あり染色。ノム、ウツ、カウを一切拒みひたすら家業にはげんでいるので合唱団の練習には妻にも子供にも大急張りでも出席している。栢山在任。
- ◎佐藤有司 小田急観光真鶴ケープパレスに勤務。趣味クラシック音楽。子供二人あり。真鶴在任。
- ◎坂口宗夫 富士フイルム勤務。信州長野市の生れ、小田原に住んで20年この年で人に笑われてもやめられないコーラス狂である。坊主3人の父親。栢山在任。
- ◎速水徹 小田原少年院教官。趣味はザル碁。
- ◎渡辺誠之 白山中学校教員。趣味なんとなく歩く山歩き。写真。2人の男子の父親。市内扇町在任。

発足の感激をいつまでも (小田原男声合唱団発足まで)

昭和44年12月。男声合唱団を創ろうではないかと、はじめての会合もたれました。メンバーは、国立音大卒の興石、大塚、松本、角田、それに楽器屋の井上でした。その頃国立関係で混声という話もあつたようでしたが、なかなかきっかけがなかったようでした。それが男声合唱団にしようという話し合いになったのは、小田原にはすでに混声合唱団がいくつもあり、運営面で女声パートが安定しない混声よりは男声にした方がよいのではないかとということでした。

先づ指揮者は、小田原内部よりも、日本の一流の人にとというのが一致した意見でした。メンバーは、学校の音楽の先生、現在混声でうたっている人、以前うたっていた人に声をかければなんとか集まるのではないかとその時はあまり具体的な線まで行かず解散しました。

それから個人的な話し合いはあつたにしても、忙がしい人達ばかりなので46年春まで一度も会合はもたれませんでした。

46年4月、今度は正式に発起人会を持つことになり、興石、大塚、松本、井上、それに湘南合唱連盟理事の長谷川が加わり、具体的な話し合いがもたれました。

指揮者には、井上が以前小田原労音の例会でお話ししたことのある男声合唱の指揮者では第一人者の福永先生にお願いしようということになり、お電話したところ、御病氣とのこと、秋には全快の予定と聞き、発足はその后にしようと思つきました。

9月、先生の全快をまつて正式にお願ひにうかがつたところ、非常に心よくお受けいただき、むしろ気持の引きしまる思いでした。男声合唱団を創ろうとしたこと、これからは中央でなく地方に文化が育つ可能性のあること、先生の住所藤沢から割近いということ等が、お引き受けいただいた理由のようでした。その後メンバーを集める段階で、福永先生が本当に毎週来ていただけののかと、何度も念を押されたことも度々ありましたし、最初の練習日に、40名も参加し、メンバーの質も高く、その後も脱落する人の少ないのは、やはり合唱における指揮者の力をまざまざと感じたことでした。

46年11月2日、最初の練習日の感激は忘れません。労音委員長松野さんの御紹介で記者クラブで記者会見をし、それが記事になったとはいえ、発足の日から多数の人が参加し、今までわれわれが味わった事がない音と音楽が城内小学校の音楽室にひびきわたったからです。 T I

これからのスケジュール

47年6月	湘南合唱祭	48年1月	全日本男声合唱団連合演奏会
8月	合唱練習	2月	藤沢市民交響音団演奏会共演
10月	小田原市民合唱祭	4月	合宿練習
10月	全日本合唱コンクール	5月	第2回定期演奏会
12月	クリスマスコンサート		

練習予定曲目

男声合唱のためのレクイエム	リスト	作曲
蛙のうた	南弘	明作曲
月光とピエロ	清水脩	作曲
枯木と太陽のうた	石井敏	作曲
男声蚕歌集	石井敏	作曲
アルト・ラプソディー	ブラーム	ス作曲

パート紹介

トップはやばりトップ

やあ、やあ、こんにちは。トップ・テノールです。トップの名のごとく、男声合唱の一番高い部分を受け持っているのがこのパート。高い声を出しているというのが本当なのか、はり上げていたりいた方が適當なのか、それはステージでの演奏をお聞きの上判断いただければ幸い。

現在11人。いずれも男ばかり（当たり前）。男らしい男、そして美男子ばかり。ステージの一番左側にいるのがそのイレブンです。2才台から40才台まで、平均年齢は30才と少し???

メンバー11人中7人までが小中の先生と、全パート中一番先生が多いのが特長。

さて、合宿での様子をのぞいてみますと、何ととっても「歌きちの集まり。歌を歌うのが好きなのは言うまでもありませんが、練習を終えたあと一杯の好きな人が多いこと。「大いに歌って、大いに飲もう」と。男同志のつき合いの良さは、こんなところにも表われてきます。何ですか、ホモがいるんじゃないかって。ご安心を。合宿の時のコンパの様子から察するに、このトップ・テノールにはその気のある人はいませんでしたから。

も一つ、何と言ってもみんなとても若いこと。妻帯者なんていないんですよ???

そう、聞くところによると「オレの行くところワイフから電話あり」なんていう人もいますが、ま、みんなとても若いです。歌の好きなヤツは心が豊か、悪者はいないっていいですから、若いお嬢さん方、この中でいい人を見つけて下さい。いずれ劣らぬ好男子ばかりですから。

また、ユーモアを解する人が多いのもパートを楽しくしている一要因。自己紹介で「オレは、飲み会の幹事なら引き受けるぞ」と買って出ってくれる人もいるほど。先生が多いため「K先生、うちの娘をよろしく頼む（どのようにか、少々疑問）」なんて人も出るし「来年結婚するから、その時はみんなで歌を歌って祝ってくれ」なんていう厚かましい注文も出ました。そういう男の集まりのトップ・テノール。まとまりのある美しい、素晴らしい演奏をお聞き下さい。

セカンド・テナー紹介

富貴名門の子女に恋するを

純情の恋と誰が言う

路頭にさまよう女に恋するを

不情の恋と誰が言う

雨ふらば雨ふるよい 風ふかば風ふくよい

泣いて笑って月下の酒場にこびを売る女の中にもまた

水蕨のごとき純情あり

あせばむ体を第一回定演にたくし

かじかむかいななに楽符をいだけ

我らセカンド アマガエル

今日の命を誰が知ろう……………

明日の命を誰が知ろう……………

ああ!!我らアマガエル どこへ行く……………。



我が心

低い声も出さず かくらいつて、高い声も出ない。中ブブラリンのパート。いわば、みんなの嫌われモンでござんす。だがしかし、
が、みすみななび 我ら屋門裏のはりとなろう。明日はいらぬ。今日、一日血みどろの斗いがあ

バリトン雑感

合宿が始まって人員点呼。一番あつまりがわるいのがバリトン。練習が始まって、真先に陽ちゃんに、にらまれるのがバリトン。とにかくお荷物みたいな存在。

バリトンがハッスルするのは飯時と懇親会の時。パトリが真先におかわりをし、山の神は、皆んなを尻目に千杯目。懇親会でも、パトリ山の神は大ハッスル。伊東温泉は、箱根温泉でも、お原庄助さん。興石、柏木温泉もお原庄助さん。とにかく飲んべえ連中が多い。練習よりも、懇親会のバリトンの活躍は目ざましいもの。食って、すぐ寝る、遠藤旅館。もつともこわいのは、大蔵大臣の飯桶、大蔵次官の浜口。二人の眼が、伊藤博文に見えてくるのだから、不思議でならない。スポーツで、若さを多いに見せた釘鹿選手。ただ一人忘れてはならないのは尾登氏。珍士として名誉撤回!!

ともかくにも、合宿の本来のものでないもので、大活躍したバリトン連隊である。

しかし、練習の時は、誰れが決めたわけではないが、不思議に席が決まっている。そして微妙なものを出すと、にらみつけられるこわい連中であ。

陽ちゃんが樞を大きくふり、そしてたたく。その時パトリンは、はっと目ざめる。なぜかそこには、陽ちゃんの、世にも恐ろしい目がバリトンに向けてられているからである。どうやら、このように見ていくと、練習でみだし、他でもみだしているのは、バリトンと言ふことになる。そんな連中の集まりバリトン。パトリン、全員集合! サアア、レッツゴー

バス・パート紹介

みなさん、こんにちは、私達バスは合唱団の中にあって最低音部を受け持ち、目立たないが、合唱の中心的存在で、和音の要になる大切な音域を持っています。それだけに責任感と実行力に富む実力者揃いでございます。もっか10人という人材が心配の種ですが、それぞれ個性派ばかり。パチンコ、マージャン、競馬、その他ギャンブル全般なんでもこいという強者や、ドライブ狂にオーディオ狂マニアに女性マニアと広くレジャー、を愛し幅広い教養と、慈愛に満ちた人間性を誇っているのですが、おれの生きがいだ』と豪語し、若き独身男性を悩ませる方もおいででございます。総じて歌うことが三度のメシより大好きな連中ばかりで、どなたかのようレの中で小田原合唱団の募集広告を見て、出すものも出さず、あわてて入団申し込みをしたという伝説的人物もおいででございます。

それに毎週の練習上には、横浜や平塚くんんだりから駆けつける方もおいでになることを考え合わせても、いかに歌うことに情熱を燃やしている連中が揃っているか理解していただけたらと思います。しかもどういいう訳か女性に非常にもてる男性が揃ったというので、他パートからの妬がささやかれる程なのもおもしろいことでございます。

こんな紹介の仕方をすると、不真面目な!!とおしかりを受けるかも知れませんが、それは誤解でして、決してそのようなことはいけません。春の強化合宿でも規則正しい生活を過し、夜の就寝時間を厳守し、翌日の練習のために体調を整える程の心使いをしたのはバスだけでございました。どこかのバスのように深夜の二時頃合宿所を抜け出して二次会、三次会と飲み歩き、次の日の練習は二日酔いでダウンなんてことはバスにかぎってございませんでした。このように人間性豊かなバス全員をこれからも可愛いがって下さい。それから合唱団入部御希望の方はぜひバスパートにいらして下さい。大歓迎いたします。



セドリツク
ローレル
キャブオール

横 濱 日 産 所
小 田 原 営 業 所

小 田 原 市 東 町 5-7
(電) 34-1 2 4 1

—印刷物はなんでもお気軽に—

共 同 印 刷

小田原市栄町3-15-13
TEL 0465 (22) 4 4 3 2

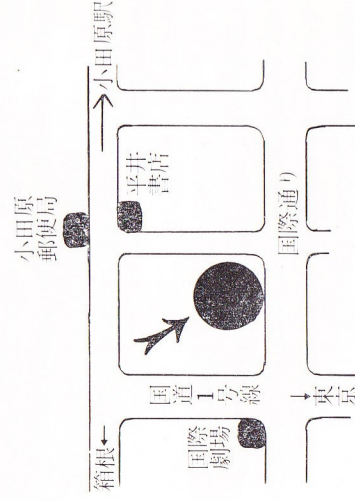
高 砂 屋 衣 装 賃 貸

小田原市銀座通り
TEL (22) 5 7 7 7

小田原男声合唱団ユニホーム

紳士服のイワシタ

国際通り TEL22-5086



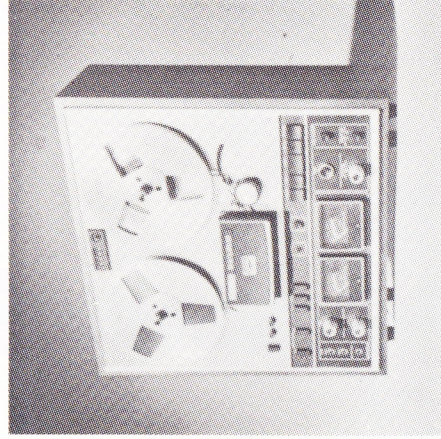
とんこつ・つけあげ・きびなご

郷 土 料 理 さ つ ま

九州出身の方ぜひ一度お越し下さい

小田原駅前北本ビル
(電) 23-0288

サウンド ライフに100倍の差をつけた 画期的ヘッド!



GX 280D

新設計サーボモーター
永久保証のGXヘッド
完ぺきさを誇る新鋭デッキ

(本日演奏会の録音機はGX-280D
を使用しております)

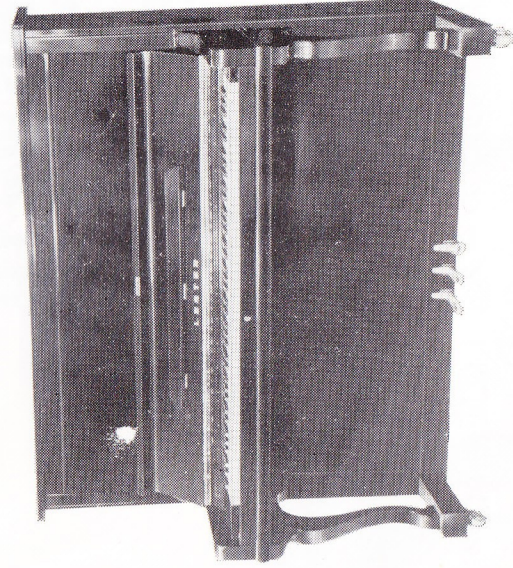
特典 8月末日までにアカイ・オーブリン・ルーテルテー
プデッキ御購入のお客様には下記特典があります

ダストカバー
マイクrophon
スプライザー
テーパー
アルミリール



代理店 **井上 楽器**

小田原オリオン座となり TEL22・5793



L3C ¥ 285.000

高さ 132^{cm}
アクリライト鍵盤
ドイツレンナーハンマー
6角ワイヤー

L5B ¥ 320.000

高さ 132^{cm}
一枚象牙鍵盤
ドイツレンナーハンマー
6角ワイヤー

レスターピアノ

世界のステレオ

パイオニア

ステレオはやはり“音の良さ”でお選び下さい。

新発売 4チャンネルステレオ
レギュラーマトリックス+SQマトリックス4チャンネル

F-6000 定価 ¥139,800

F-7000 定価 ¥149,800

アメリカをはじめ世界のレコードメーカーがSQレコードの発売を
始めました

あなたも4チャンネルステレオでお楽しみ出来ます

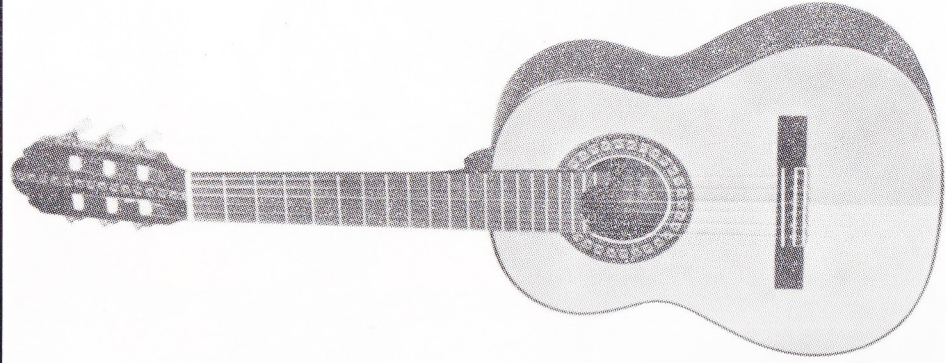
三木稔が久々に書き上げた男声合唱曲 男声 蛮歌集

A4変形判 28ページ 300円

もっぱら現代邦楽のジャンルで注目されている三木稔の久々の男声合唱曲。旧制高校出身の作曲者の、バンカラへの郷愁かと思わせる題名だが、現代のさまざまな問題に、蛮勇をふるって立ち向かう強力な批判精神と、人間回復への願望の形象化だという。秋浜悟史、ふじたあさや、小田切清光の詩によりおどり、「サヨナラはごめんだ」「ひとりぼっちのブルース」「夜底」「念々子守唄」「もてぬおのこのざれうた」の五曲による構成。上品にとりすぎました発声ではなく、地声をストレートにぶっつける思い切った感情の表出が必要だ。

井上楽器 (小田原市・オリオン座隣) でお求め下さい

カワイ楽器



ヤマハ各種楽器
鈴木絃楽器
トンボリード楽器
セイコーメトロホーム
音楽之友社
全音
カワイ楽譜
輸入楽譜
ステレオデュニホーム

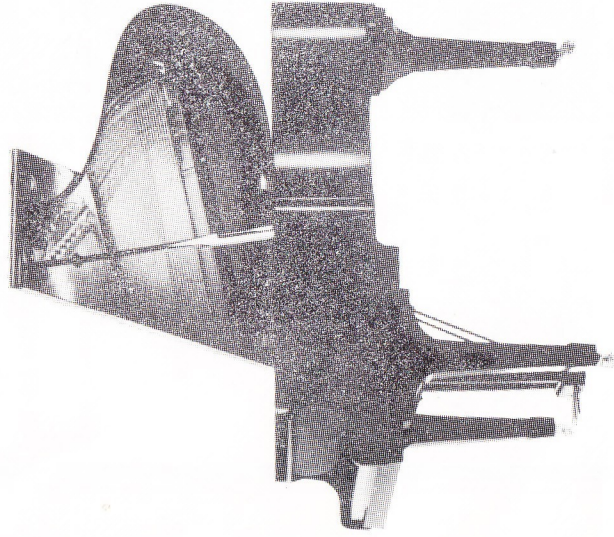
楽器・楽譜類卸・小売 (カタログご請求下さい)

(株) 宮地商会

東京都千代田区神田小川町1-4
(電話) 03-255-2751 (代)
(〒) 101

良いピアノをつくること……これが私の生きがい
です。

芸術に妥協がないように、ピアノの品質にも妥協
は許されません。一生の友としていつまでも弾く
人と心の通いあうピアノをおとどけしたい。
この考えが私の技術を支えてきたのです。



大橋 幡 岩

設計と技術指導はピアノ造り
60年の経験を持ち我国ピアノ
技術界最高の権威者である…
大橋幡岩氏です

トニカピアノ

ファッション & ファッション

船
志澤
shizawa

小田原店・でんわ23-1111
平塚店・でんわ22-1111
厚木店・でんわ21-1111

●お近くの志澤へ
おこしくださいませ



ピアノ・オルガン・ステレオ・レコード・楽器一式

舶来ピアノノ取扱い

齊藤楽器店

☆調律も承ります☆

上郡南足柄市千津島1381
電話 (0465) 74-3139番
南足柄市(有線) 5448番

《PTS・クリヤースOUND》による

東芝の“現代合唱曲シリーズ”

好評発売中!!

清水 脩作品集

月光とピエロ

「月光とピエロ」(全曲)
「普香天子」(昔い照明より)
「柳太郎の四つの詩」(全曲)
「しるい火の姿」(大手拓哉の三つの詩より)
「無宿者の歌」(三つの俗歌より)
(指揮)福永勝一郎
(合唱)日本アカデミー合唱団 TA-7024



石井 欽作品集

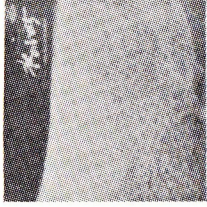
枯木と太陽の歌

「枯木と太陽の歌」(全曲)
「五つの学生の手記」(全曲)
(指揮)福永勝一郎
(合唱)日本アカデミー合唱団 TA-8001

高田三郎作品集

水のいのち

「水のいのち」(全曲)
「心の四季」(全曲)
(指揮)福永勝一郎
(合唱)日本アカデミー合唱団 TA-8003



三善 晃・大中 恩作品集

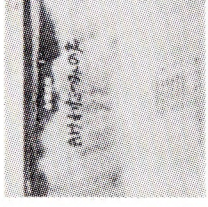
三つの抒情

「三つの抒情」(全曲)
「なごむら帽子」
「嵐の風船」(全曲)
(指揮)福永勝一郎
(合唱)中国短期大学コーラルフェスティバル
TA-8002

多田 武彦作品集

柳河風俗詩

「柳河風俗詩」(全曲)
「中 助助の詩から」(全曲)
(指揮)福永勝一郎
(合唱)日本アカデミー合唱団 TA-7027



福島雄次郎作品集

合唱組曲

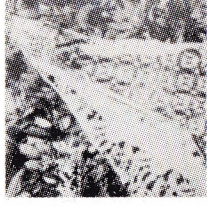
きけわだつみの声

→日本戦没学生の手記より
プロローグ(なげけるか)青い田んぼ/馬糞
諷/展(しかばね)/標となれむる/今夏は
清月/エビローグ(死んだ人には)
(指揮)村川千秋(テノール)丹羽勝海
(合唱)アカデミア混声合唱団/他 TA-7031

清水 脩作品集

山に祈る

「山に祈る」(全曲)
「或る花のころろ」/智恵子抄巻末のうた六首
(智恵子抄より)
(指揮)清水 脩
(合唱)東京リーダー・ターフェル TA-8008



三善 晃作品集

混声合唱組曲

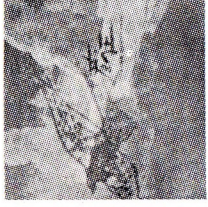
嫁ぐ娘に

「嫁ぐ娘に」(全曲)
「小さな目」(全曲)→子どもの詩による13の歌
(指揮)福永勝一郎
(合唱)日本アカデミー合唱団 TA-8010

佐藤 真・福井文彦作品集

蔵王

「蔵王」(全曲)
「空・道・河」(全曲)
「動物園」(全曲)
(指揮)福永勝一郎
(合唱)日本アカデミー合唱団 TA-7032



湯山 昭作品集

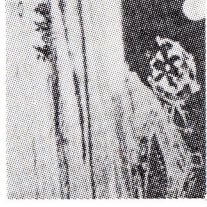
葡萄の歌

「葡萄の歌」(女声合唱とピアノのための組曲)
「月曜日とわたし」(女声合唱曲集)
(指揮)近藤安介
(合唱)中国短期大学フライングエンコーラル
TA-8011

大中 恩作品集

海の若者

「ピアノ伴奏による五つの歌」(海の若者/秋の
五/花苗/沼/別れの唄)
「無伴奏の四つの歌」(わたりどり/そよ風/別
れみち/花のある杜)
「風と花粉」(全曲)
「五つの子供の歌」(バスの子/サ/ちゃん/お
となマーチ/くもさん/バナナを食べる時の歌)
「祝婚歌」
(指揮)福永勝一郎
(合唱)日本アカデミー合唱団 TA-7025



東芝レコード

東芝音楽工業株式会社

●各30cmステレオ ¥1,800

音色6段切り換え、リズムボックス内蔵機種 新発売

音のビクダマー40年の情熱が創りあげた傑作

ビクダ電子オルガン

ビクダトロン

特約店：井上楽器 (小田原オリオリ座となり) 22-5793